

平成28年度 つぼみ保育園 保育所自己評価

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。

このことを踏まえつぼみ保育園では保育の質の向上を図る為に保護者アンケートを実施するとともに保育所の自己評価を実施致しました。評価の結果を踏まえ今後もより良い保育を提供できるよう努力していきます。

評価について

評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

◎—よくできている ○—ほぼできている △—努力が必要

評価対象期間

平成28年4月1日から平成29年2月28日

評価責任者

施設長

岡本由美



1・保育理念

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
保育理念、保育目標を理解し正しく説明することができる。	◎	入社時、全体研修などで保育理念を伝えている。
保育園の園目標や方針が保護者に知らせている。	○	入園時に重要事項説明書にて全員に口頭説明。玄関、各保育室に掲示する。

2・保育計画

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
保育計画を作成し、見直しをもった保育を実施している。	◎	保育所保育指針に基づき、保育課程、年間保育計画月案、週案、日案を作成している。
年間計画、年間行事の見直しをしている。	◎	保護者の声を踏まえ年間行事の改定を行う。今年度新たに取り入れた行事。畑での自園栽培、収穫。

3・人権尊重

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる。	◎	子どもの思いを大切に子どもが理解しやすい言葉で伝える。 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちを汲み取るよう努力している。

4・個人情報保護

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
個人情報の扱いについて入園時等で説明されている。	◎	守秘義務の周知徹底に努めると共に、書類等個人情報に関わるものに関しては、鍵のかかる場所に保管している。園内研修などで守秘義務について周知している。
業務上で知り得た子どもの情報に関する守秘義務について全職員で周知している。	◎	
保護者からの相談の内容の守秘義務について全職員で周知している。	◎	

5・保育内容

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
遊びに入れない子どもや、全体の様子に気を配っている。	◎	一人ひとりの子どもに気を配り丁寧に関わるようにしている。早くしなさいとせかず言葉やいけませんなどの制止の言葉を用いない保育を心掛けている。
子どもがのびのびと意見や意思が表現できるような保育が行われている。	◎	子ども同士の関係を良くするような言葉かけをしている。子どもを否定するような声掛けをしない。子どもの意思を尊重する。
遊びを通して、友達や保育士との関わりが十分持てるよう配慮されている。	◎	保育者自身が一緒に身体を動かしながら楽しんで保育している。
遊びや生活を通して人間関係が育つような配慮をしている。	◎	けんかの場面では、状況を適切にとらえ、双方の思いを聞き、丁寧に対応している。
身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。	◎	畑を借りての自家菜園や近隣住民との交流の機会を作っている。
園の行事や保育の内容などが知らされている。	◎	掲示板やブログを使い日々の活動を伝えている。

6・保育環境

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
園内外が清潔で心地よい空間となっている。	◎	掃除分担表を作成し日々清潔な環境作りをしている。ゴミが落ちていたら拾う、掃くなど日々の掃除を徹底している。玩具の消毒を日課としている。
年齢に応じた保育が提供できるような環境である。	◎	年齢ごとに仕切られた保育室で落ち着いて生活ができる。可動式壁の為場面に適した空間を確保できている。
子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気おもちゃが工夫されている。	◎	子どもたちの手の届くところに年齢に合ったおもちゃを用意している。

7・特別な支援を要する子どもへの対応

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
特別な配慮が必要な場合の対応がされている。	○	一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画を作成している。できない、やってなどの要求に優しく丁寧に答えている。 専門機関、保護者と連携を取りながら個々に合った保育を行う。

8・保護者支援

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
意見や要望などへの対応ができています。	○	行事後や定期的に保護者アンケートを行い改善の努力をしている。 今年度保護者からの要望により改善した点。 ・親子参加型の夏祭りの実施 ・敬老お祝い会で祖父母との交流 ・作品展の実施 ・ホームページ(ブログ)の開設 ・行事時のカメラマン依頼
職員が子育て等、話しやすい雰囲気や態度で接している。	○	保護者の思いを理解するように努め、丁寧に対応するように心掛けている。保護者と子どもに笑顔で挨拶をし、気持ちの良い対応をしている。

9・安全対策・健康管理

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
保育中の体調への気配りや怪我等に対して配慮されている。	○	事故、怪我のないよう声を掛け合っている。 各マニュアルを設置し園内研修にて周知している。
感染症の発生状況や注意事項などが知らされている。	◎	毎月の保健だよりの発行。感染症発生時には掲示、一斉メールにてお知らせする。
子どもの成長を把握している。	◎	年2回の健康診断、毎月の身体測定の結果を保護者、保育者、栄養士と情報共有している。
不審者対策を行っている。	◎	年2回の不審者対応訓練、セキュリティカードによる玄関の施錠管理を行っている。

10・給食

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
給食が楽しく食べられるよう工夫されている。	◎	見た目の工夫や旬の食材を取り入れたり、自家栽培の野菜を取り入れ食べる事への意欲を高めている。 ランチバイキング、おやつバイキングの実施で自分の好きな物、食べられる量を理解する機会を設けている。
食育を通して子ども達が食に興味をもてるようにしている。	◎	保育理念、保育目標を基に年間食育を立て見通しを持った食育を行っている。 行事に関する献立を作成し食文化を伝えている。
子どものサインを見逃さないようにしている。	◎	年齢に応じた形態、身体測定の結果を反映した量などにし、食べる事に無理強いしない。
アレルギー除去食の対応。	◎	アレルギー児の把握。トレイや食器の個別化徹底。 ダブルチェックで配膳を正確に行う。 除去食メニューを作成し保護者、保育者と確認する。
衛生管理の徹底。	◎	衛生マニュアルに基づき徹底。正しい手洗いから始まり、白衣、帽子、マスクの着用。 調理室内の衛生、掃除の徹底。

11・地域支援

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
地域との関係が適切に保たれている	◎	日ごろの挨拶。行事時の声掛け。子ども達との交流。
地域の子育て支援、交流。	◎	園庭開放や育児支援、育児交流の開催。 地域への絵本貸出など地域の方が行きやすい場所になるよう努力している。 保護者の思いを理解するよう努めている。

12・職員育成

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
職員の質の向上に努めている。	◎	職員に研修を受ける機会を設け、そこで学んだことを園内研修にて全員に周知している。 保育士としての立ち振る舞いを指導している。
社会人としての振る舞いを指導している。	◎	正しい言葉遣いで接客や電話対応するよう指導している。 自分の仕事に誇りを持てるよう声掛けをしている。

園全体の評価

開園2年目にあたる今年度は、園として新しいことに挑戦するという目標を持って臨んだ。また、年長児が9名揃ったことで就学に向けての取り組みも園としての課題となった。今年度新たに取り組んだ事としては、近隣に畑を借り自家栽培に挑戦した。子ども、全職員で長期計画を実践するという目標を立て、さつまいもの苗植えから始まり成長過程の見守り、水やり、草むしりを経験し収穫体験。更に収穫したさつまいもでの食育や焼き芋パーティなどを行った。更に平行し「そらいろのたね」の絵本を題材に絵本の内容を実写体験する取り組みも行われた。導入から展開、発展と園全体で楽しむ事ができた。地域支援では園庭開放、育児講座、育児交流も行い、一時保育も積極的に行った。年長児にはリーダーとしての役割や係を与え自己肯定感を育て就学への期待が高まる雰囲気作りを心掛けた。お泊り保育や遠足では園バスで園外に行き様々な経験ができた。保護者支援では個別相談の時間を作ったり、定期的に保護者アンケートを行い保護者からの要望にも応えるよう努めた。保護者からの要望が多かったものとして、保護者が参加できる行事の計画があげられ、夏祭り、敬老お祝い会、親子クッキングなどを取り入れ大勢の方に参加いただく。年度末に行った保護者アンケートでは、園の総合満足度が「満足」、「どちらかといえば満足」をあわせ100%という高い評価をいただいた。

来年度の課題

保護者アンケートで評価が低かった項目として、「職員が子育て相談等、話しやすい雰囲気や態度で接している」である。この事を真摯に受け止め保護者との信頼関係に努めたい。送迎時の声掛け、気持ちの良い挨拶、笑顔などの態度等つぼみ保育園の職員像を改めて確認周知していきたい。今年度同様保護者アンケート等保護者からの要望や意見も取り入れて行く。その一つとして玄関にご意見箱を設置する。新たに新人職員を迎える事もあり、園内研修を充実させより良い保育を提供できるようまた、職員が自信を持って仕事ができるよう支援していく。

